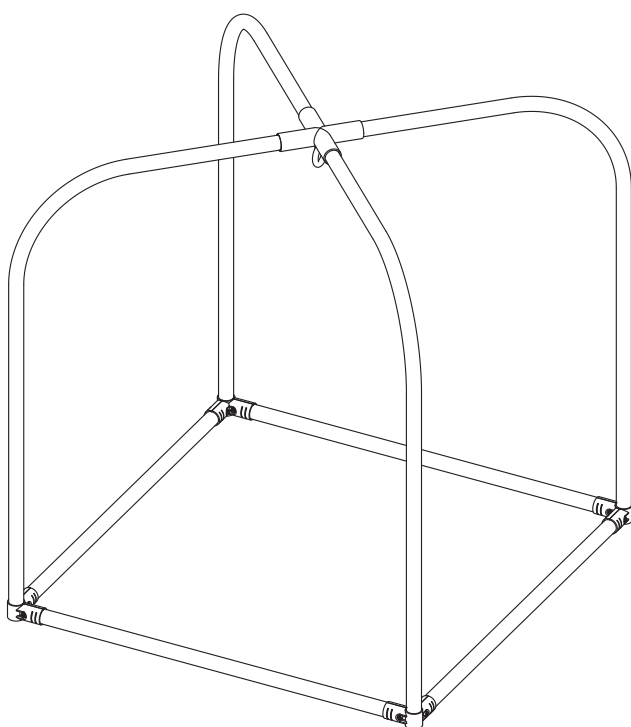


スイングフレーム

品番：CMA-01



スイングフレーム
CMA-01

目次

！安全に関する表示	2
1. 使用上のご注意	2
2. ご使用方法	3
3. 設置上のご注意	4
4. 仕様	4
5. 構成部品	4
6. スイングフレームの組立手順	6
7. 「スイング」の取付け	10
8. 「スイング」の高さ調整	14
9. 点検	16
10. お手入れ方法	17

製品の概要



「スイングフレーム」は、パシフィックサプライ株式会社製の感覚統合器具「スイング」を吊り下げて、振子運動・回転運動ができるハビリテーション器具です。

お買い上げありがとうございます

販売店様：この取扱説明書は必ずお客様に説明してからお渡しください。



ご利用者様：使用前にこの取扱説明書を必ずお読みになり大切に保管してください。

※パシフィックサプライ株式会社製の感覚統合器具「スイング」の取扱説明書と合わせてご覧ください。

警告	誤った使用をされた場合、「死亡や重傷につながる可能性がある」内容を警告しています。	 禁止	してはいけない内容です。
注意	誤った使用をされた場合、「傷害や財産への損害につながる可能性がある」内容を注意しています。	 必ず守る	必ず守っていただく内容です。

1. 使用上のご注意

警告

- 指定の「スイング」以外を使用しない。また、指定された取付方法以外で取り付けない。
「7. 『スイング』の取付け」で指定する以外の「スイング」を取り付けしないでください。
指定以外の「スイング」の使用及び取付方法は、スイングフレームが倒れたり落下するなど、事故のおそれがあります。
- 改造・加工は絶対に行わない。
事故やケガをするおそれがあります。
- 使用中にスイングフレームを移動させたり、「スイング」の高さ調整をしない。
事故やケガをするおそれがあります。
- 取付ベルトやリングストッパー、ロープを首や体に巻きつけない。
ケガや窒息事故のおそれがあります。
使用中に子供が誤って巻き付けないよう注意してください。
また、使用しない時は手の届かない場所で保管してください。
 取付ベルト  リングストッパー
- スイングフレームの上に登ったり立ち上がったたりしない。
スイングフレームが倒れたり利用者が落下するなど、事故のおそれがあります。
- スイングフレームに直接ぶら下からない。
スイングフレームが倒れたり利用者が落下するなど、事故のおそれがあります。
- 使用中、スイングフレームが大きく移動したり、浮き上がるような運動はしない。
スイングフレームが倒れたり利用者が落下するなど、事故のおそれがあります。
また、スイングフレームが浮き上がった場合、利用者の手や脚、身体及び付き添い人を含む周囲の人の手や脚、身体をはさむおそれがあります。
- 「スイング」の上に立たない。
スイングフレームに頭や体が当たってケガをしたり、転落をするおそれがあります。
座る・またがる・寝そべるなど、重心が低い状態で使用してください。
- 階段付近や傾斜及び段差のある場所で使用しない。
スイングフレームが倒れたり、利用者が転落しケガをするおそれがあります。広く平らな場所で使用してください。



禁止

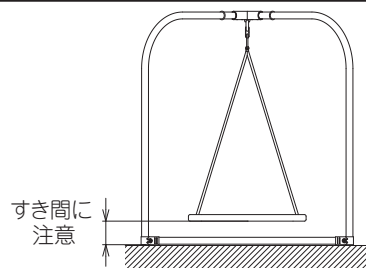
- 必ず専門家の指導のもとで使用する。
医師・PT（理学療法士）・OT（作業療法士）・PO（義肢装具士）・MSW（医療ソーシャルワーカー）・ST（言語聴覚士）の指導のもとで使用してください。
また、使用中は必ずOT（作業療法士）などハビリテーション関連スタッフまたは保護者などが付き添ってください。

- 利用者体重が 50kg 以下の範囲で使用する。
利用者体重 50kg を超える荷重で使用すると破損やケガ・事故につながるおそれがあります。

- 使用前・使用中はスイングフレームやスイングの下・周辺に、付き添い以外の人・ものがないことを確認する。
事故やケガの原因になります。使用中は、付き添い人以外は近づかないでください。

- 「スイング」を揺らす際は、スイングの底面から床までのすき間に体が入らないように注意して使用する。

誤って転落した際などに利用者の体が「スイング」と床のすき間にはさまれたり、床に手足が接触したまま使用すると、揺れているスイングに巻き込まれるなどして骨折や窒息の重大事故につながるおそれがあります。
スイングの底面から床までのすき間には十分注意してご使用ください。



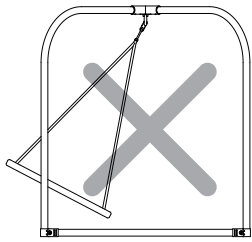
- 使用前には、各部にガタつき・ねじのゆるみ・金具や取付ベルトの摩耗や断線がないことを確認する。
部品が消耗・破損したまま使用しますと、使用中にスイングフレームが破損したり、転落するなど重大事故につながるおそれがあります。毎回、使用前に製品点検を行ってください（「9. 点検 (P.16)」参照）。

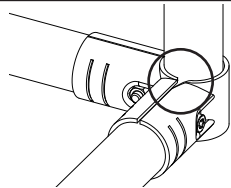
- スイングフレーム、スイングの破損や異常が見つかった場合は直ちに使用を中止する。
正しく設置できない場合や機能を損なう状態の場合は直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

- 柱パイプにぶつからないように注意して使用する。
ケガのおそれがありますので、振れ幅に注意して使用してください。ケガや事故を防ぐために厚手のタオルや毛布など、クッション性のあるものを巻き付けて使用することを推奨します。

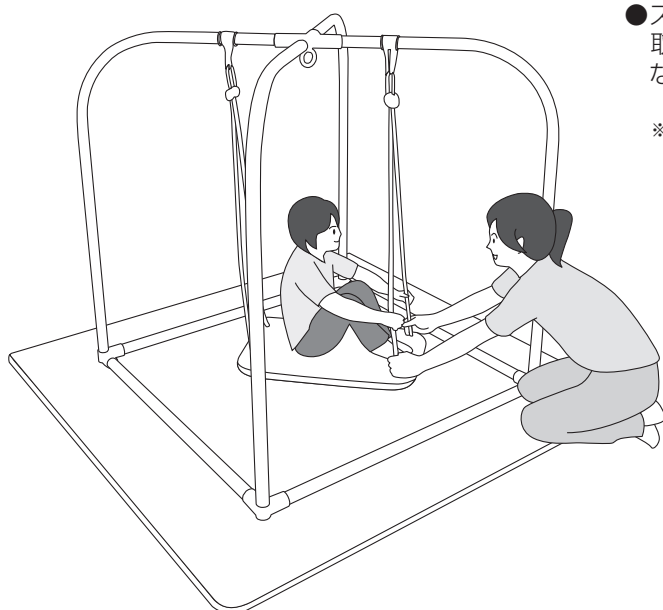


必ず守る

<div>!</div> <div>必ず守る</div>	<p>●スイングフレームの下にマットを敷いて使用する。 転落時のケガや事故防止及び床面へのキズ付き防止のため、マットを敷いてご使用ください。</p>	
	<p>●振り運動を行う際は、基本的に「スイング」はスイングフレームの外にはみ出さない範囲で揺らして使用する。 スイングフレームの外にはみ出すことで、バランスを崩して転倒したり、転落するおそれがあります。ただし、「オーシャンスイング」など使用する「スイング」によっては、スイングフレームの外にはみ出す場合があります。 その際、スイングフレームが大きく移動したり、浮き上がるような運動をするとスイングフレームがバランスを崩して転倒したり、利用者が転落するおそれがあります。 また、周囲の人やものにぶつかるなどケガや事故の原因になりますので、激しく揺らして使用しないでください。</p>	
	<p>●使用後は、「スイング」をフレームから取り外して保管する。 子どもが誤って使用することによって発生する事故を防ぐために、使用後はスイングをスイングフレームから取り外して保管してください。</p>	
	<p>●スイングフレームの組み立てや移動など、スイングフレームを持ち上げる際は必ず2人以上で行う。 大型で重量物ですので組み立てや移動には十分注意してください。</p>	
	<p>●移動させる際は、各部にガタつき・ねじのゆるみがないことを確認する。 部品が外れるなどしてケガをするおそれがあります。</p>	

⚠注意		
<div>⊘</div> <div>禁止</div>	<p>●「スイング」に2人以上同時に乗った状態で使用しない。 スイングフレームは一人用です。</p>	
	<p>●屋外で使用しない。 スイングフレームは屋内用です。</p>	
	<p>●火のそば・熱器具（ストーブなど）の近くでは使用しない。 金属部が熱くなり火傷の原因になります。また、変質・軟化・変形または破損するおそれがあります。</p>	
	<p>●水やお湯に濡れる場所で使用しない。 さびが発生する原因になります。濡れた場合は水分を拭き取って使用してください。</p>	
	<p>●使用中はメタルジョイントとパイプとのすき間に指などを入れない。 組み立ての際、メタルジョイントとパイプの間に多少のすき間が生じますが、これは締め付け構造上に必要なすき間であり、使用上問題はありません。 ただし、使用中に子供が誤ってすき間に（○部）指などを入れることがないように注意してください。</p>	

2. ご使用方法



- スイングフレームにご利用になる「スイング」を選択（P.10）、取り付けていただき、スイングの座面に乗り、回転運動・振り運動などをしてご使用ください。

※使用中パイプとベルトが擦れ、異音が発生する場合がありますが、使用上問題ありません

⚠警告	
<div>!</div> <div>必ず守る</div>	<p>●必ずハビリテーション関連スタッフまたは保護者などが付き添って使用する。</p>

3. 設置上のご注意

⚠ 警告



- 設置後ガタつき、ねじのゆるみ、締め忘れがないことを必ず確認する。
各部品が確実に取り付けられていることを確認してください。
取付けが不十分な場合、使用中に金具類が外れるなど事故につながるおそれがあります。
設置後は必ず製品の点検を行ってください(「9. 点検 (P.16)」参照)。

- 必ず平坦な場所に設置する。

⚠ 注意



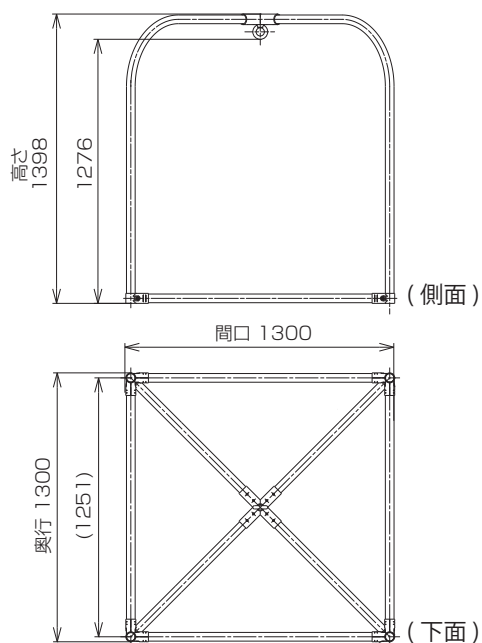
- 直射日光の当たる場所や炎天下の車内に長時間放置しない。
金属部が熱くなり火傷の原因になります。また、変質・軟化・変形または破損するおそれがあります。



- スイングフレームを設置・移動する際は、足や手を挟まないように注意する。

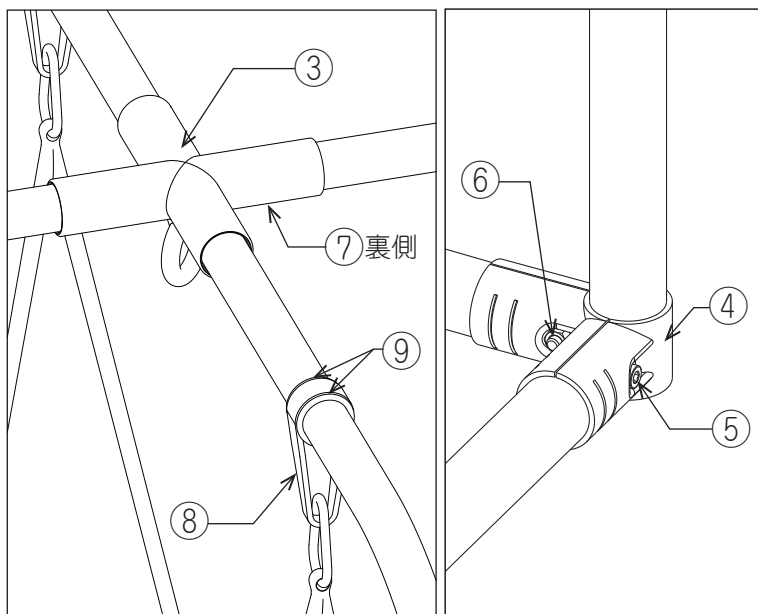
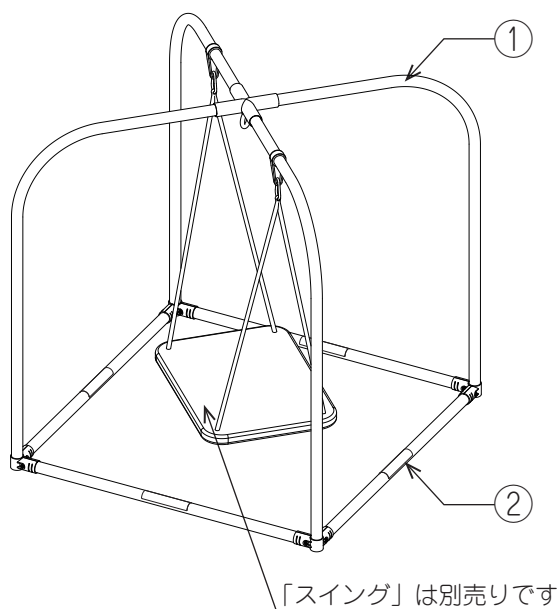
4. 仕様

単位：mm



品 名	スイングフレーム
品 番	CMA-01
質 量	15kg(フレームのみ)
利用者体重	50kg 以下
カ ラ ー	パイプ：アイボリー 金 具：ブラック

5. 構成部品



スイングフレームを箱から取り出しましたら、梱包内容の確認と破損などがないかご確認ください。
 万一異常が生じておりましたら、お買い求めの販売店にご相談ください。
 「スイング」（別売）はパシフィックサプライ株式会社製をお求めください。

名 称	部 品 図	材 質	数 量
①柱パイプ		プラスチック被覆 スチールパイプ	4
②底パイプ		プラスチック被覆 スチールパイプ	4
③パイプ接続金具		スチール	1
④ジョイント		スチール	4
⑤六角穴付きボルト (M8 × 40)		スチール	8
⑥六角ナット (M8)		スチール	8
⑦六角穴付き止めねじ (M8 × 8)		ステンレス	8
⑧取付ベルト		ナイロン	2
⑨リングストッパー		ニトリルゴム	4
六角レンチ	 対辺：4mm  対辺：6mm	スチール	各 1

6. スイングフレームの組立手順

●必ず2人以上で組み立てを行ってください。 ●平坦な場所で組み立ててください。

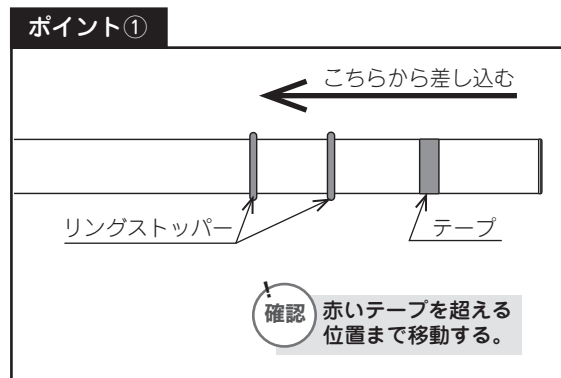
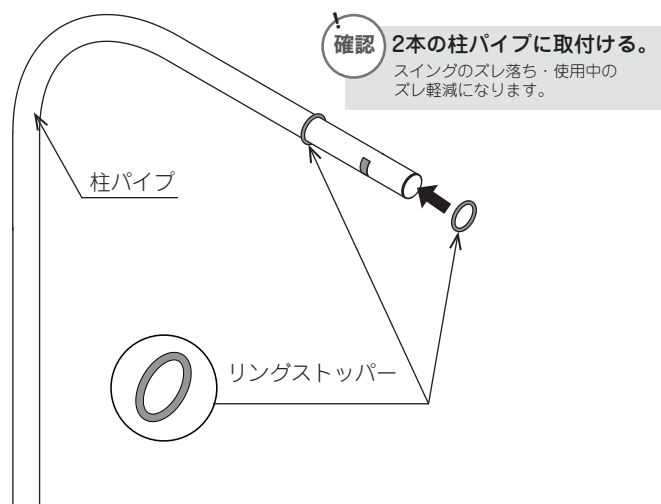
1. マットを設置する

スイングフレームを設置する場所に、転落時のケガや事故防止及び床面へのキズ付き防止のため、必ずマットを敷いてください。マットサイズは180cm程度、厚さ1.5cm程度のものをご使用ください。

※マットは付属しません。別途お買い求めください。(推奨: パシフィックサプライ株式会社製 スーパーセラピーマット)

2. 柱パイプにリングストッパーを取付ける

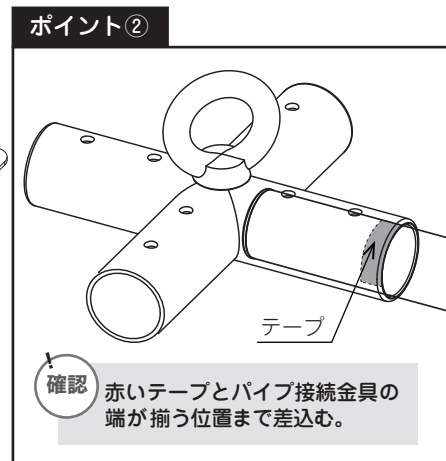
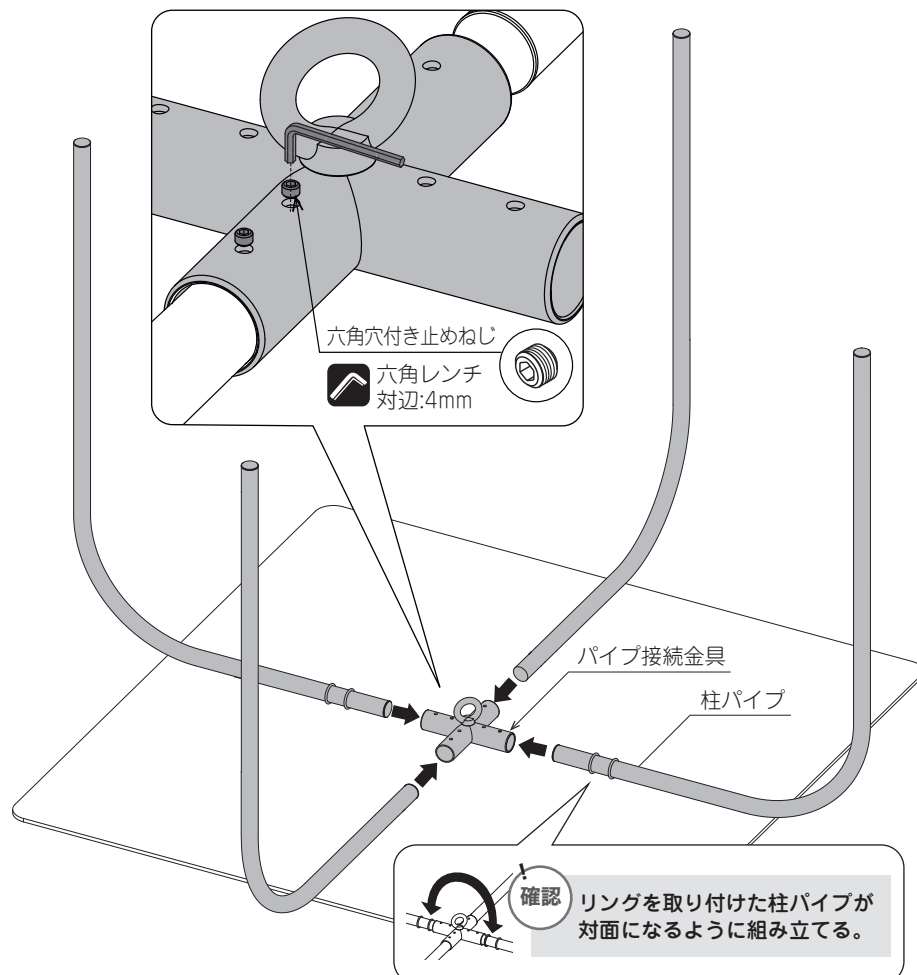
スイングのズレ落ちや使用中のズレを軽減させるために、リングストッパーを2本の柱パイプに2個ずつ取り付けます。



3. パイプ接続金具と柱パイプを組み付ける

1で設置したマットの上に、リング部が上になるようにパイプ接続金具を置き、2の柱パイプを差し込みます。リングを取り付けた柱パイプが対面になるようにしてください。

赤いテープがついている方を金具に差し込み、六角穴付き止めねじ (M8 × 8) で仮固定します。



⚠ 注意	
<div>!</div> <div>必ず守る</div>	●必ず指定の位置に指定のねじで固定する。
	●ねじはねじ穴に対してまっすぐ締め付ける。 無理に締め付けるとねじ山の破損の原因になります。
	●パイプ接続金具に柱パイプが指定の位置まで確実に入り込んでいることを確認する。 入り過ぎていたり、入り込みが足りない場合、次の工程で組み立てができなかったり、使用中に部品が外れるおそれがあります。赤いテープと金具の位置がそろっていることを確認してください。

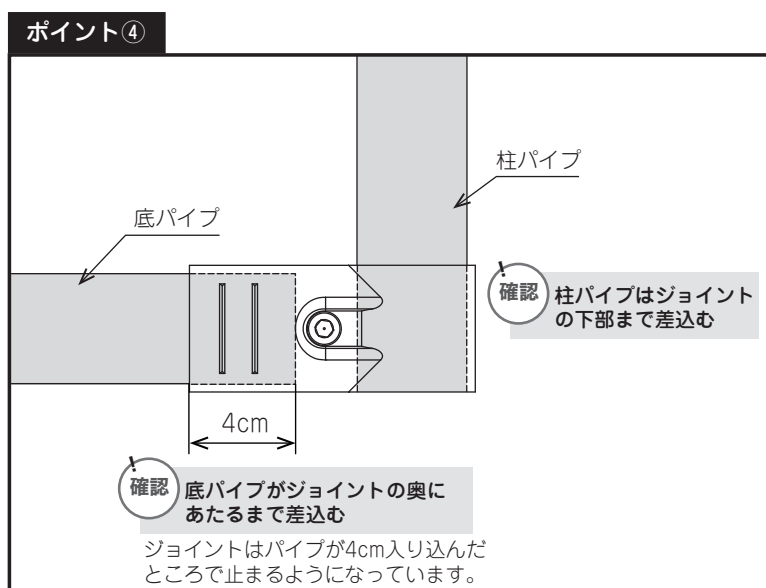
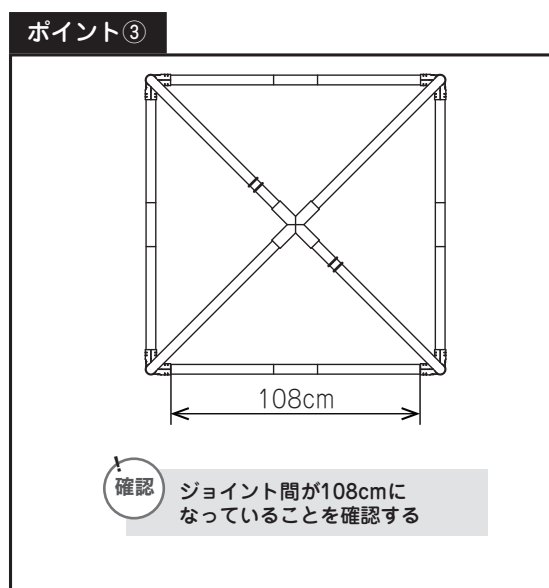
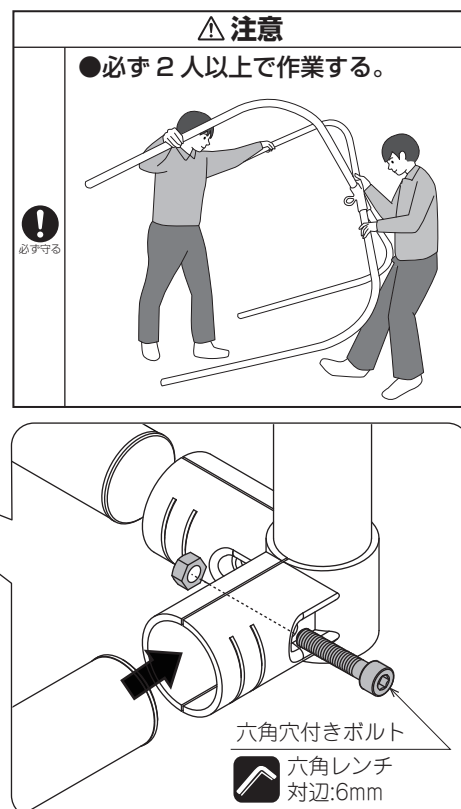
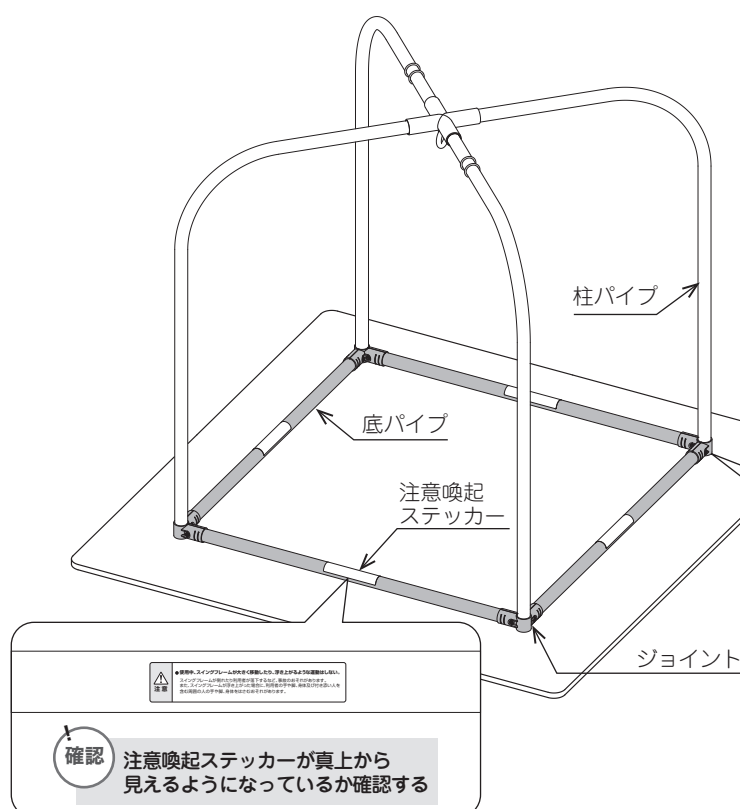
4. ジョイントと底パイプを組み付ける

3 で組み立てたスイングフレームをひっくり返し、底パイプと柱パイプをジョイントにて組み付けます。

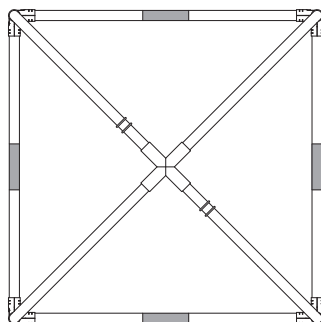
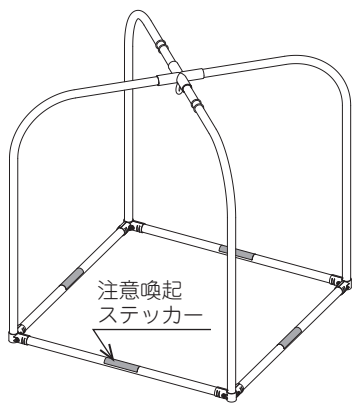
六角穴付きボルト・六角ナットで確実に締め付けてください。

うまく組み立てができない場合、3 で仮止めした止めねじを少しだけゆるめると組み立てやすくなります。

底パイプの注意喚起ステッカーがフレームの真上から見えるような位置で組み立ててください。



ポイント⑤



▲上から見た状態



●使用中、スイングフレームが大きく移動したり、浮き上がるような運動はしない。
スイングフレームが倒れたり利用者が落下するなど、事故のおそれがあります。
また、スイングフレームが浮き上がった場合に、利用者の手や脚、身体及び付き添い人を含む周囲の人の手や脚、身体をはさむおそれがあります。

▲注意喚起ステッカー



確認 4辺の底パイプにある注意喚起ステッカーがフレームの真上から見えるような位置で組み立てる

警告

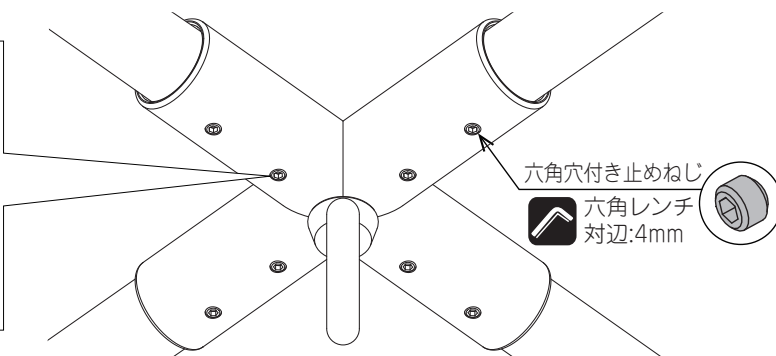
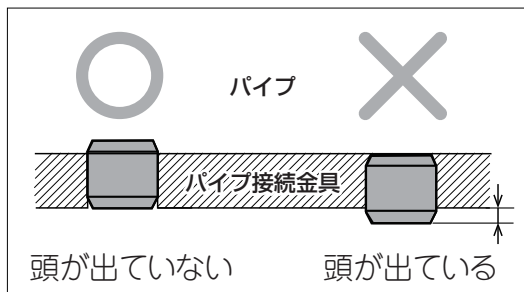


必ず守る

- 底パイプがジョイントの壁にあたるまで確実に入り込んでいることを確認する。
入り込みが足りない場合、使用中に部品が外れるおそれがあります。
寸法を測りながら確実に組み立ててください。
- ジョイント4点が確実にマットに接地し、ゆがみやぐらつきがないことを確認する。
不安定な状態で使用すると、ケガや事故の原因になります。スイングフレームにゆがみがないことを確認してください。ゆがみが発生している場合は、ジョイント及び手順3のパイプ接続金具のねじをゆるめ、ゆがみを矯正してください。

5. 六角穴付き止めねじの締め付け

3で行った仮止め状態の六角穴付き止めねじ(M8×8)を六角レンチ(対辺4mm)にて確実に締め付けてください。
六角穴付き止めねじの頭が金具から出ない位置まで確実に締め付けてください。



注意

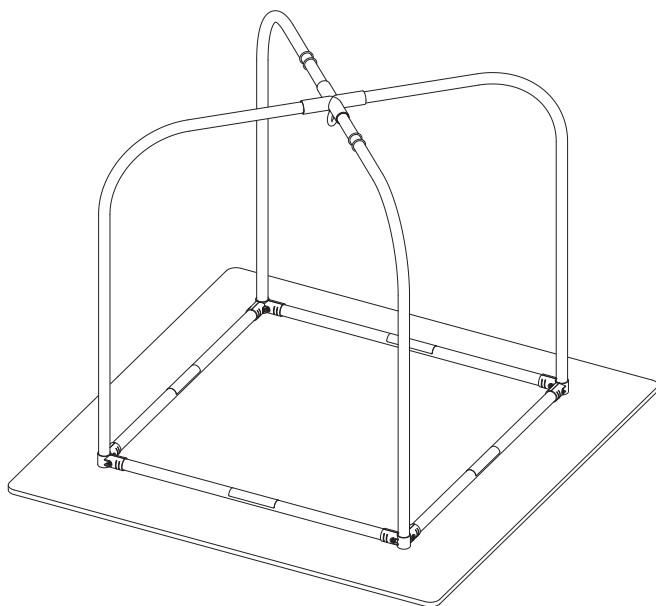


必ず守る

- 六角穴付き止めねじの頭が金具から出ない位置まで確実に締め付ける。

6. ガタつき確認

スイングフレームにガタつきがないか、ジョイントやパイプ接続金具にパイプが十分に入り込んでいることを確認してください。



確認

パイプ接続金具・ジョイントにパイプが十分に入り込んでいることを確認してください。

ポイント② …P.6

ポイント④ …P.7

警告



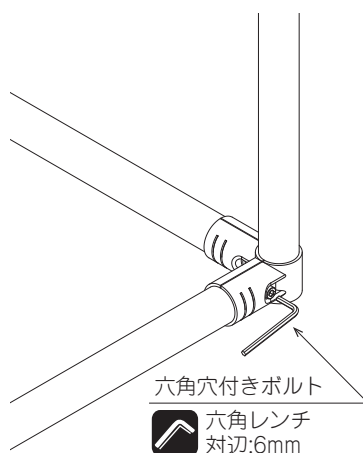
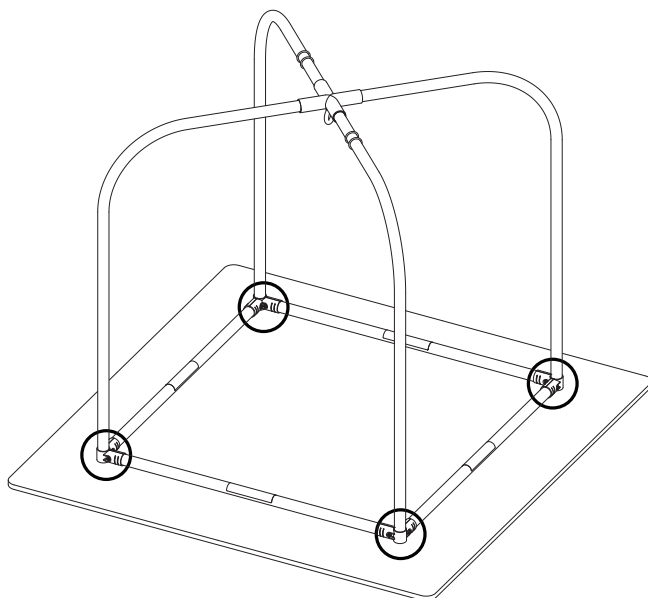
必ず守る

●組み立て後、ガタつきやねじのゆるみがないこと、ジョイント・パイプ接続金具にパイプが十分に入り込んでいることを確認する。

組み立てが不十分ですと使用中に部品が外れるなど、ケガや事故の原因になります。設置後は必ず製品の点検を行ってください(「9. 点検 (P.16)」参照)。

7. 増し締め

ジョイント及びパイプの構造により、揺動運動の影響でジョイントがなじみ、わずかなすき間が発生する可能性があります。組み立て後や再度、組み立てを行った際は1時間～2時間程度使用した後、付属の六角レンチ(対辺6mm)にて、ジョイントの六角穴付きボルトを確実に締め付けてください。(合計8ヶ所)



注意



必ず守る

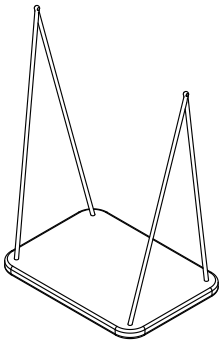
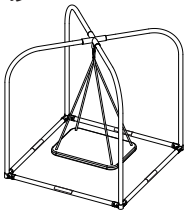
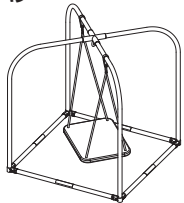
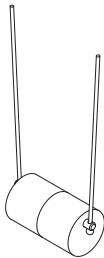
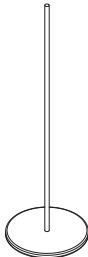
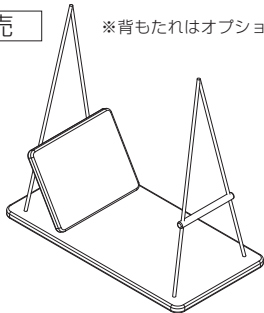
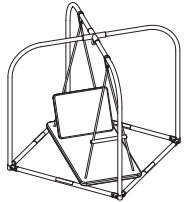
●組み立て後や再度、組み立てを行った際は、1時間～2時間程度使用した後、付属の六角レンチ(対辺6mm)にてジョイントの六角穴付きボルトを確実に締め付ける。

7. 「スイング」の取付け

本製品は、感覚統合器具「スイング」を吊り下げて、振り運動・回転運動ができるハビリテーション器具です。

1. 取付可能「スイング」一覧

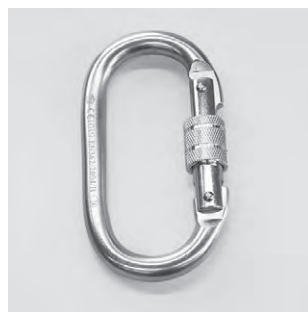
下記に示すパシフィックサプライ株式会社製の「スイング」を取付けてください。それ以外のものは使用しないでください。

	品名	質量	製品図	取付例
①	サンライトスイング	6kg	<div>別売</div> 	1 点吊り下げ
				 2 点吊り下げ 
②	スペースローリン	2kg	<div>別売</div> 	2 点吊り下げ
③	円盤ブランコ	2kg	<div>別売</div> 	1 点吊り下げ
④	オーシャンスイング	11kg	<div>別売</div> ※背もたれはオプション品です。 	2 点吊り下げ
				

2. 「スイング」の取付方法

カラビナの使い方

付属のカラビナは、ねじ式ロック付きのカラビナです。カラビナを取付けた後、必ずカラビナの安全環のねじを回して上に動かし、カラビナの口が開かないようにしてください。

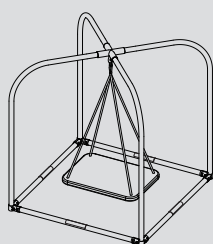


ゆるんでいる状態

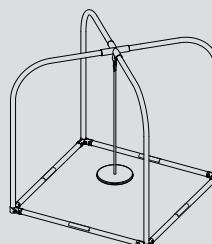


締まっている状態

A. 1点で吊り下げる場合（サンライトスイング・円盤ブランコ）

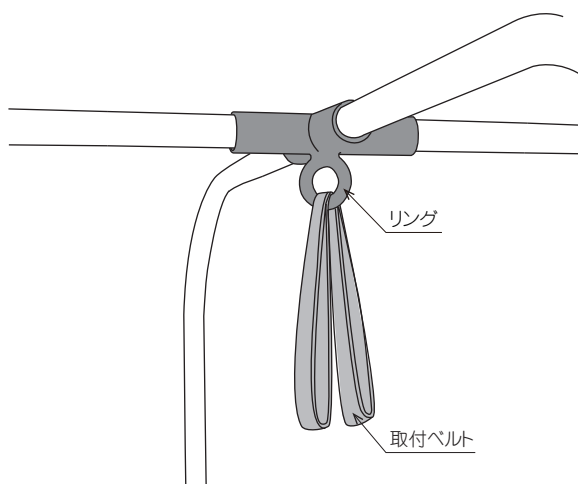
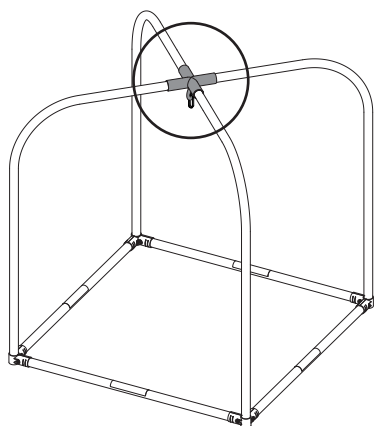


サンライトスイング

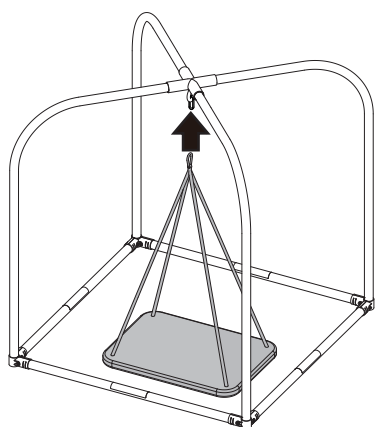


円盤ブランコ

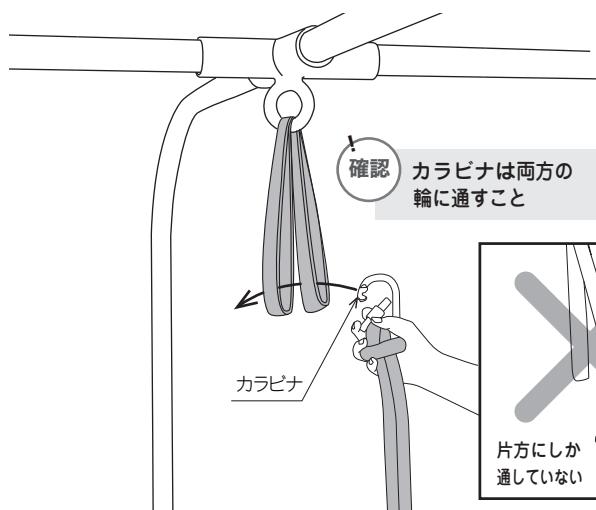
①パイプ接続金具中央のリングに取付ベルトを通します。



②取付ベルトに「サンライトスイング」または「円盤ブランコ」のカラビナを取付けます。

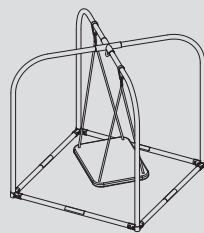


↑ 取付けイメージ(例:サンライトスイング)

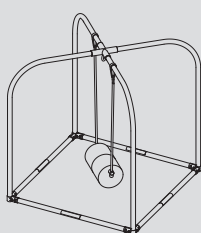


※サンライトスイングは取付けベルトにカラビナを2個まとめて取付けてください。

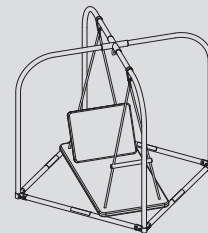
B. 2点で吊り下げる場合（サンライトスイング・スペースローリン・オーシャンスイング）



サンライトスイング



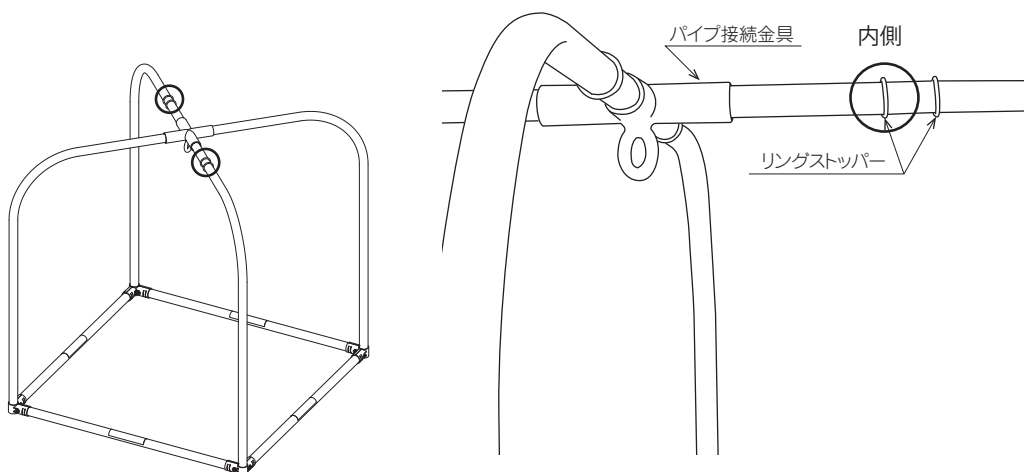
スペースローリン



オーシャンスイング

① 「リングストッパー」位置の調整

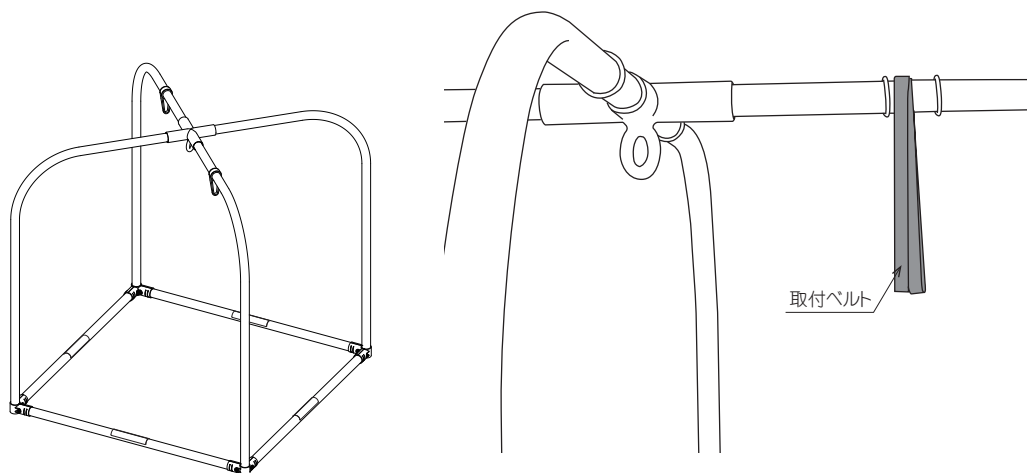
2点で吊り下げる場合は「6. スイングフレームの組立手順」の手順2で取り付けしたリングストッパーの、内側(パイプ接続金具側)のリングストッパーを下記の推奨取付位置まで移動させてください。



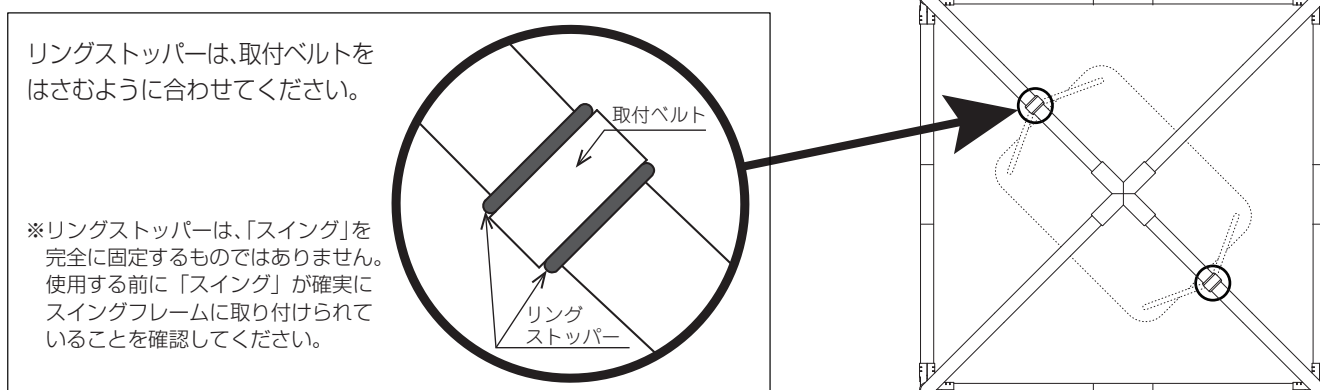
●推奨取付位置 サンライトスイング、スペースローリン、オーシャンスイング

<p>サンライトスイング(2点吊り下げ)</p>	<p>15cm 程度</p> <p>パイプ接続金具の端部から内側(パイプ接続金具側)のリングストッパーまでが15cm程度の位置になるように取り付けるとスムーズにスイングができます。</p>
<p>スペースローリン</p>	<p>10cm 程度</p> <p>パイプ接続金具の端部から内側(パイプ接続金具側)のリングストッパーまでが10cm程度の位置になるように取り付けるとスムーズにスイングができます。</p>
<p>オーシャンスイング(2点吊り下げ)</p>	<p>38cm 程度</p> <p>パイプ接続金具の端部から内側(パイプ接続金具側)のリングストッパーまでが38cm程度の位置になるように取り付けるとスムーズにスイングができます。</p>

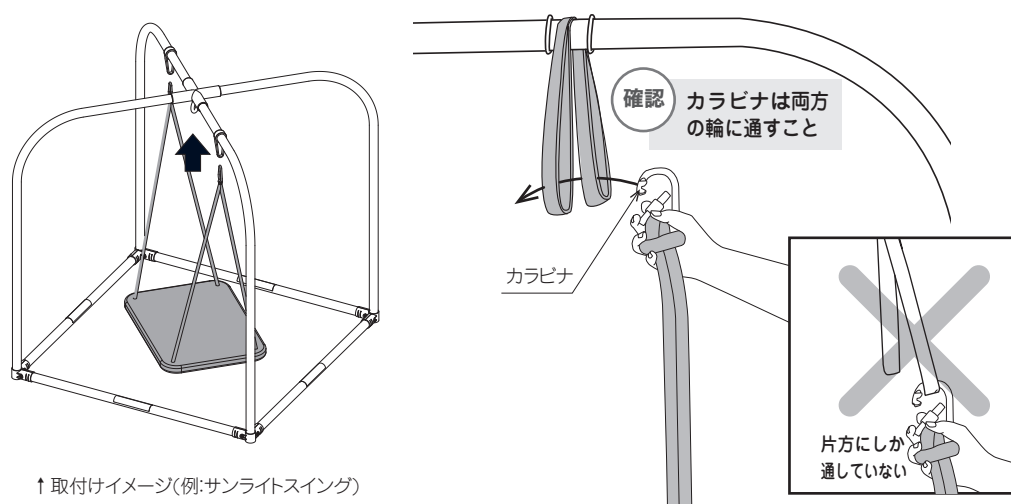
②リングストッパーの間に取付ベルトを掛けます。



③外側のリングストッパーを移動させて取付けベルトをはさむようにします。
スイングのズレ落ち防止になります。



④取付ベルトに「サンライトスイング」または「スペースローリン」のカラビナを取付けます。



警告



禁止

- 1 点で吊り下げる場合は、パイプ接続金具のリングに直接カラビナを取り付けて使用しない。
使用中、金属同士が擦れることで摩耗しやすくなります。必ず付属の取付ベルトを介した状態で取り付けてください。
- 取付ベルトをほどいたり切断したりしない。
取付ベルトは輪状の部品です。
接合部をほどいたり切断したりせず、そのままご使用ください。

8. 「スイング」の高さ調整

1. ベルトによる高さ調整

取付ベルトの巻き付け数を変えることで高さ調整ができます。
スイングを下げたい場合は巻き数を減らし、上げたい場合は巻き数を増やしてください。

● 1 点で吊り下げる場合

サンライトスイング、円盤ブランコ



● 2 点で吊り下げる場合

サンライトスイング、スペースローリン、オーシャンスイング



2. ロープによる高さ調整

ロープを結ぶことで高さ調整ができます。高さを変えたい場合は、下記方法で調整してください。

● 円盤ブランコ

任意の場所で止め結びを作り、高さを調整してください。



①ロープで輪を作ります。



②輪にカラビナを通します。



③ロープを引きます。



④しっかり止まるまで締め付けます。



止め結びを作る
数で高さを調整
してください。

● サンライトスイング・オーシャンスイング

ロープ 2 本をまとめて止め結びを作り、高さを調整してください。



①ロープで輪を作ります。



②輪にカラビナを通します。



③④カラビナとロープを引いて、止まるまで締め付けます。



●スペースローリン

カラビナに結びつけている側のロープをゆるめ、余っているロープにより高さを調整してください。



参考：カラビナへのロープ取付け方

詳しくはパシフィックサプライ株式会社製「スペースローリン」の取扱説明書をご確認ください。



①カラビナにロープを通します。



②もう一重、ロープを通します。



③ロープを引いて輪を作ります。



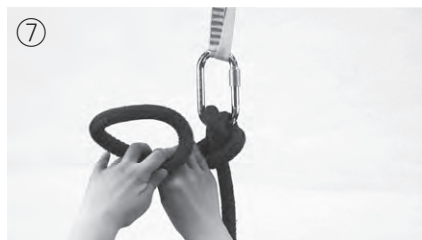
④できた輪にロープを通します。



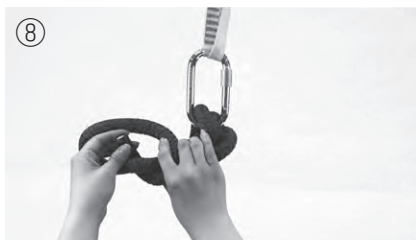
⑤通したロープを引いていきます。



⑥しっかり止まるまで締め付けます。



⑦余ったロープで輪を作ります。



⑧できた輪にロープを通します。



⑨ロープを引いて締め付けます。

9. 点検

1. 設置後の点検

- 設置後及び使用前には、必ず以下のチェック項目に問題のないことを確認してください。
- 以下項目及びその他異常を発見した場合は、直ちに使用を中止し、販売店にご連絡ください。
- 各部の取付けが不十分な場合、使用中に部品が外れたり破損して事故などにつながるおそれがあります。異常状態のまま使用しないでください。

チェック項目

- ☐設置面が平坦な場所であること。
- ☐マットが敷いてあること。
- ☐スイングフレームにガタつき・ねじのゆるみ・パイプや金具及びジョイントの破損や変形、摩耗がないこと。
- ☐取付ベルトやスイングのロープの破損や摩耗、裂けなどがないこと。
- ☐使用開始から 1 時間～2 時間程度使用后、六角レンチ(対辺 6mm)にて、ジョイントの六角穴付きボルトを確実に締め付け、増し締めを行うこと。

2. 日常の保守点検

- 保守点検は使用前に本製品管理者が必ず行ってください。
- 保守点検の結果、異常が発生した場合は直ちに使用を中止し、修理交換をしてください。異常状態のまま使用しないでください。

チェック項目

- ☐設置面が平坦な場所であること。
- ☐マットが敷いてあること。
- ☐スイングフレームにガタつき・ねじのゆるみ・パイプや金具及びジョイントの破損や変形、摩耗がないこと。
- ☐取付ベルトやスイングのロープの破損や摩耗、裂けなどがないこと。

▲警告

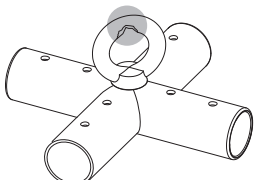

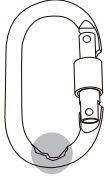



必ず守る

- 使用前にガタつき・ねじのゆるみ・締め忘れ、部品の破損・その他異常がないことを確認する。
日常の保守点検に従って、使用ごと異常がないことを確認してください。
異常があった場合は直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店へご相談ください。
使用中に部品が外れるなど、ケガや事故の原因になります。

3. 部品交換の目安

次のような場合、使用中に部品が破損するなど、ケガや事故につながる場合があります。
以下の症状が出た場合は部品交換を行ってください。

	交換の目安
パイプ	ジョイントやパイプ接続金具との接触や止めねじによって表面の樹脂が削れ、中の金属が見えている場合や、パイプが潰れている場合。 十分に締め付けて固定することができない場合がありますので、ただちに交換してください。
パイプ接続金具	<ul style="list-style-type: none"> ・取付ベルトとの摩擦によりすり減り、リングの直径 1/4 程度まで摩耗が進んだ場合。 ・パイプ挿入口が開いたり変形している場合。  <div data-bbox="1252 1489 1428 1668"> <p>摩耗部分</p>  <p>断面</p> <p>直径 1/4 以上が摩耗している</p> </div>
カラビナ	取付ベルトやロープとの摩擦によりすり減り、直径 1/4 程度まで摩耗が進んだ場合。  <div data-bbox="1252 1713 1428 1892"> <p>摩耗部分</p>  <p>断面</p> <p>直径 1/4 以上が摩耗している</p> </div>
ジョイント	パイプ挿入口が開いたり変形している場合。
ロープ	変形したり、ほつれている場合。 突然断線することがありますので、ただちに交換してください。
取付ベルト	変形したり、ほつれている場合。 突然断線することがありますので、ただちに交換してください。

10. お手入れ方法

1. 日常のお手入れ

金属部・パイプ


- 柔らかい布で乾拭きしてください。
- 汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤で拭き取り、固く絞った布で洗剤が残らないように拭き取った後、柔らかい布で乾拭きしてください。

取付ベルト

- お湯に浸して少量の中性洗剤で手洗いか、洗濯機の「手洗いコース」などにしてぬるま湯で洗濯してください。きれいな水で洗剤を落とし、陰干ししてください。

スイング（別売）


- 使用する「スイング」の取扱説明書（パシフィックサプライ株式会社製）に従って適切にお手入れしてください。

⚠ 注意	
 禁止	● 全部品についてたわしや磨き粉で磨かない。 傷がつくおそれがあります。

2. 消毒方法

- 消毒を行う場合、アルコール清拭消毒、逆性清拭消毒などを推奨します。
- 塩素系の消毒液を使用する場合は、消毒液の使用方法及び使用上の注意に従い、希釈して使用してください。

（参考：次亜塩素酸ナトリウム 6%水溶液なら120倍～300倍程度に希釈）

⚠ 注意	
 必ず守る	● 塩素系消毒液の使用後は乾いた布などで拭き取る。 塩素系消毒液での消毒後、付着させたまま放置すると酸化が促進され、さびを発生させる可能性があります。 消毒後は、消毒液が残らないよう、拭き取ってください。

3. 保管方法

- 常温の範囲内で保管してください。常温以外で保管すると、変形や破損を生じるおそれがあります。
- スイングフレームにさびの発生を防ぐため、湿気の少ない風通しの良い場所に保管してください。
- スイングフレームを分解して保管する場合は、「6. スイングフレームの組立手順」1～5の反対の順序で行ってください。

Handwriting practice lines consisting of 20 horizontal dotted lines.

保証書

お客様	お名前	様
	ご住所	〒
	電話	— —
対象製品		スイングフレーム (CMA-01)
ロット番号		
お買い上げ日		(西暦) 年 月 日
販売店	住所	
	店名	
		電話 — —

無料修理規定

1. 保証の適用

取扱説明書等の注意事項にしたがった正常な使用状態で本品の不良による著しい変形・破損・ゆرمい・はずれ・割れの故障が発生した場合には無料修理させていただきます。

2. 保証の期間

保証の期間は、お買い上げ日より起算し、1年間の経過日までとします。

3. 免責事項

次に該当する場合、保証期間内であっても保証対象外となります。

ただし、お客様のご要望により有料にて修理対応させていただきます。

- ①. お客様が適切な使用、維持管理を行わなかったことによる故障及び損傷等の不具合。
- ②. お買い上げ後の輸送または、移動時の落下など、お取扱いが不適当なために生じた使用上の誤り、お客様の改造による故障及び損傷。
- ③. カタログ、取扱説明書などに記載されている以外の不適当な条件、環境、取り扱い、使用方法などに起因した故障の場合。
- ④. 弊社製品の改造及び弊社が指定する以外の製品を接続したことに起因する場合。
- ⑤. 弊社または弊社の指定業者以外が修理・改造したことに起因する場合。
- ⑥. 取扱説明書、カタログなどに記載されている消耗部品などが正しく保守交換されていなかったことに起因する場合
- ⑦. 自然特性または、通常の経年変化に起因する摩耗・退色・変色などによるもので使用上支障のないもの。
- ⑧. 使用に伴う摩耗等による外観上の不具合。
- ⑨. 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の環境に起因する不具合。
- ⑩. 火災・地震・水害・落雷・噴火・津波等その他天災地変などによる自然現象に起因し、被害を受けたもの。
- ⑪. 動物、昆虫等の生物の行為に起因する不具合。
- ⑫. 保証期間経過後に申し出されたもの、または保証該当事項の発生後すみやかに申し出のなかったもの。
- ⑬. 本書のご提示がない場合。
- ⑭. 本書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。

以上の内容は、日本国内での取引及びご使用を前提とします。

なお、この保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

<連絡先>

お客様相談室



0120-054-280

FAX 0120-054-281

●フリーダイヤル 9:00～16:00 (月～金)

●FAX 24時間毎日

矢崎化工株式会社

〒422-8519 静岡県静岡市駿河区小鹿2-24-1

※製品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

● 矢崎化工株式会社

■ 本 社 〒422-8519 静岡県静岡市駿河区小鹿 2-24-1

■ 北 海 道 支 店 福祉介護機器課
〒072-0007 北海道美幌市東 6 条北 8-2-1
TEL 0126(63)4285 FAX 0126(63)4459

■ 神 奈 川 支 店 福祉介護機器課
〒257-0024 神奈川県秦野市名古木 3-4
TEL 0463(81)4315 FAX 0463(81)4316

■ 広 島 支 店 福祉介護機器課
〒738-0042 広島県廿日市市地御前 1-7-17
TEL 0829(36)1111 FAX 0829(36)3890

■ 仙 台 支 店 福祉介護機器課
〒981-1223 宮城県名取市下余田字中荷 280
TEL 022(382)2145 FAX 022(382)1099

■ 静 岡 支 店 福祉介護機器課
〒422-8519 静岡県静岡市駿河区小鹿 2-24-1
TEL 054(286)1101 FAX 054(286)3988

■ 高 松 支 店 福祉介護機器課
〒761-8058 香川県高松市勅使町 227
TEL 087(866)6411 FAX 087(867)1916

介護支援ページ
kaigo-web
<http://www.kaigo-web.info/>

■ 関 東 支 店 福祉介護機器課
〒373-0823 群馬県太田市西矢島町 88
TEL 0276(38)1511 FAX 0276(38)3522

■ 名 古 屋 支 店 福祉介護機器課
〒484-0963 愛知県犬山市字鶴池 48-2
TEL 0568(67)0111 FAX 0568(67)7219

■ 九 州 支 店 福祉介護機器課
〒820-0702 福岡県飯塚市平塚 481-1
TEL 0948(72)0310 FAX 0948(72)4026

■ 東 京 支 店 福祉介護機器課
〒359-0023 埼玉県所沢市東所沢和田 1-38-3
TEL 04(2944)7113 FAX 04(2944)7007

■ 大 阪 支 店 福祉介護機器課
〒569-8551 大阪府高槻市大塚町 5-1-1
TEL 072(672)8440 FAX 072(673)8822

18061906

DW-250-01